

いの町グリーンツーリズム研究会全体会(第4回)を開催

いの町グリーンツーリズム研究会(以下、GT)は、新メンバー2人を含む33名(会員数67名)が出席の中、平成17年最後の全体会(平成17年12月4日)を開きました。

平成17年一年の総括に始まり、各部会(農村民泊部、体験活動部、企画広報部)の活動発表や、これからのGTのあり方について活発な議論が交わされました。

全体会で話し合われたこと

□ 総括

平成17年は農泊開業や焼畑再興の試行など、活動が本格化した1年であり、官民協働の取組みが実を結んできたことを実感している。

今後、各地域の点在した活動を全体に広げる連携が必要だ。

橋本高知県知事から、グリーンツーリズムを高知県の産業の一つとなるよう、いの町から発信してほしいとエールをもらった。(細川代表と知事の面談より)

□ 活動状況報告とこれからの思い

○ 農泊部会

<平成17年の活動>

農泊第一弾開業(7軒開業)受入れ者数170人(平成17年11月末)

<これからの思い>

それぞれの家庭にある食材を活かしていきたい。定員以上の宿泊や一人客に気を使う。ぼちぼちしんどくないようにしていこう。

地域の特性を活かしていこう。

道の駅を訪れる日帰り客も利用してもらえるように特色のあるもてなしや料理を研究しよう。

○ 体験活動部

<平成17年の活動>

脇ノ山地区での焼畑再興、成山地区での棚田保全活動、間伐体験など

<これからの思い>

いろいろな人を巻き込んでいきたい。

広報に力を入れ、多くの人に参画してもらおう。

○ 企画広報部

<平成17年の活動>

町広報連載開始、農泊パンフレット作成、農泊パンフレット第二弾(作成中)、いの町グリーンツーリズム研究会ホームページ(作成中)

<これからの思い>

町広報による情報発信だけでは不十分(掲載時期と参加してほしい行事等とのズレがある。)

企画立案が未熟

各部との連携が不十分(会員の連携を図りつつもっと充実した活動計画を実践していきたい。)

□ みんなの思い

体験活動は、もっと地元の住民にも喜んでもらえるような連携を

上東地区の取り組み(パンの学校等)などとの連携ができれば

自然体で、無理せず継続してやっていって

地域の人も入っていけるような取り組みを

多くの人にGTを、またその活動を知ってもらおう。

日常していることに一つプラスアルファする発想をしよう……など

「いの町民に元気の輪を広げよう！」をモットーに活動を始めた研究会です。

みなさんの参画を求めています。興味を持たれた方、これを機会に研究会をのぞいてみませんか!活動への参加、企画立案への提言、意見だけ会員、どのような関わり方でも大歓迎。みんなでの町を元気にしましょう!

ご意見・問い合わせ・連絡先

いの町グリーンツーリズム研究会

事務局 吾北総合支所地域振興課

所在地 いの町上八川甲1934

☎ 867-2314 ☎ 867-2337

E-mail: mu-takahashi@town.ino.lg.jp

